

# いきもの広場

## ① エノキハムシの幼虫



エノキの葉を食べる虫、という名前の通り幼虫はエノキの葉で見つかります。食べ痕のある葉のまわりを探してみましょう。

## ② ミツボシキリガの幼虫



円内の写真のように、エノキの葉をふたつおりにした巣を作り、中にひそんでいます。エノキの葉を食べ、40mmほどにまで成長します。

## ③ エノキトガリタマバエの巣



しずくの形をした虫こぶの中には、タマバエの卵がひとつずつ生みつけられています。この後、虫こぶは地面に落ち、来年の春に羽化するまで幼虫は虫こぶの中で生活します。

## ④ エゴツルクビオトシブミの揺籃



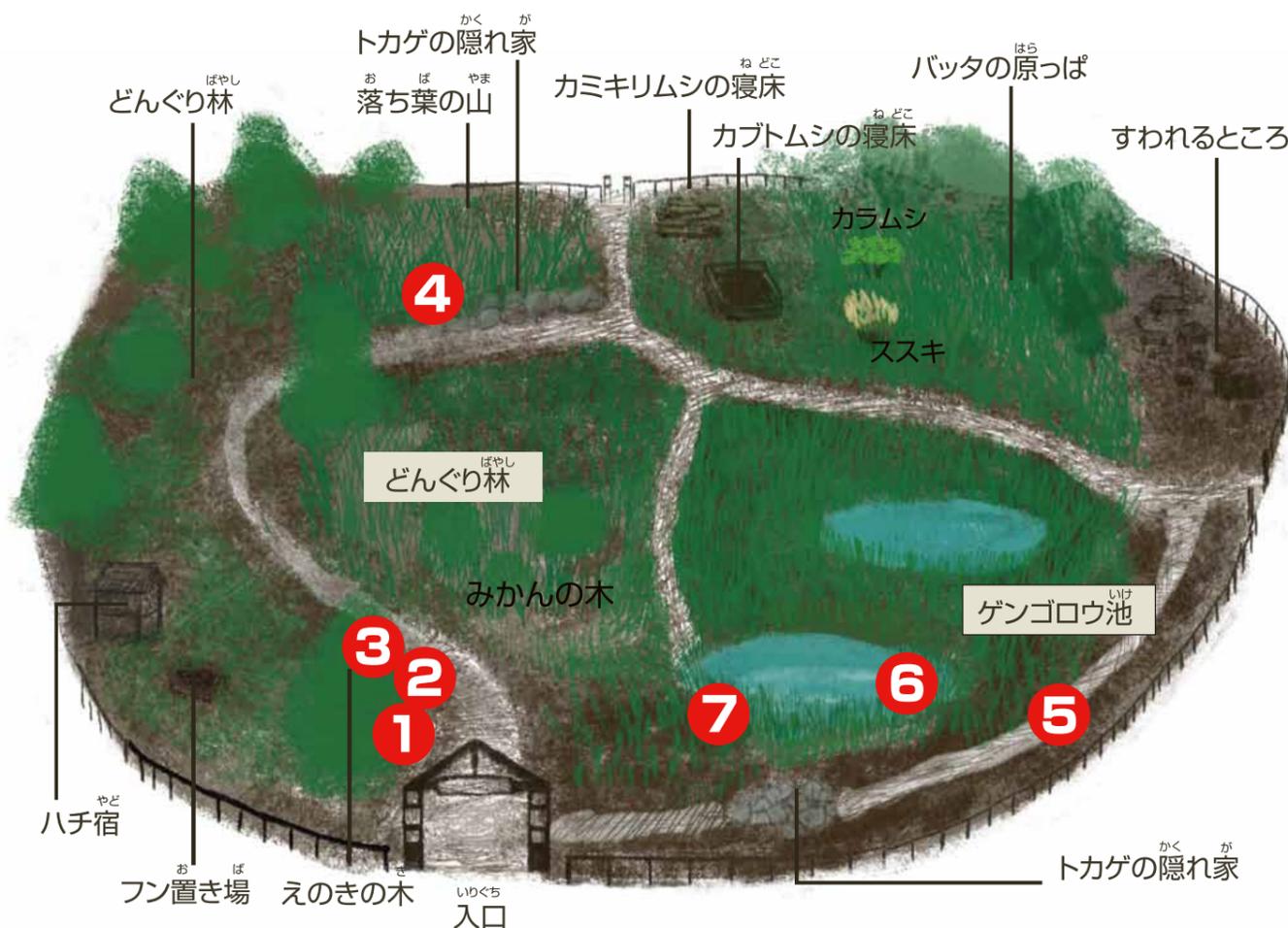
オトシブミの仲間は、葉を巻いてその中に卵を産みます。幼虫はその「ゆりかご」の中の葉を食べて成長し、やがて成虫になり出てきます。

## ⑤ チャミノガの幼虫 (ミノムシ)



長さ 25mm ~ 40mm くらいの蓑の中に幼虫がいます。6月から7月くらいに成虫になります。オスは羽を持って飛ぶことができますが、メスは一生ミノの中で過ごします。

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。5月になって、緑が濃くなり、生き物の種類と数が増えてきました。



## ⑦ アズマヒキガエルのオタマジャクシ



3月おわり頃に卵からふ化しました。後ろ足が生え、まもなく前足も生えそうです。いよいよ5月中には上陸する見込みです。

## ⑥ クロスジギンヤンマのヤゴの抜け殻



池で冬を越したヤゴが近くの枝につかまって羽化したらしく、抜け殻が残っていました。秋に池を飛びまわっていたクロスジギンヤンマと思われます。